

ふれあいボランティアパスポートの手引き 2009 年



ふれあいボランティアパスポートを使ってボランティアに参加しよう！

ふれあいボランティアパスポートは、全国の児童・生徒のボランティアのきっかけを作ります。

ただ今参加校募集中

連絡先 arima@sawayakazaidan.or.jp

さわやか福祉財団では、小・中・高等学校を中心に、ボランティア活動を記録する「ふれあいボランティアパスポート」(以下「ふれあいパス」という)を無償(ただし、送料のみご負担いただきます)で提供しています。

ふれあいボランティアパスポートプロジェクト リーダー 有馬正史

「ふれあいパス」って？

1. 目的

ボランティア活動を難しく考えていませんか？
実はボランティアは誰でも簡単にできます。

そして子どもたち(大人の人もふくめて)が、
ボランティアに取り組むきっかけとなるアイテム
が、「ふれあいパス」なのです。



2. ふれあいパスの仕組み

- ・パスポートサイズの手帳です。(左上写真参照)
- ・活動記録の欄にその日のボランティアを書きます。
- ・ふれあいシールがついています。ボランティア活動を1回する毎に1枚のシールを貼ります。
- ・最後に1年間の取組の成長を考える【ボランティアを終えて】(複写)があります。

日付	活動内容	備註
□		
□		
□		
□		
□		
□		
□		

活動の記録



ふれあいシール

3. ふれあいパスの特徴

ふれあいパスへの賛助

このプロジェクトは、賛同企業・団体・個人等の皆様のご厚意によるご寄付によって、すべての運営が行われています。

児童・生徒の活動が社会とつながります！

活動終了後、6つの社会貢献活動団体（活動支援団体）の中から児童・生徒自身が応援したい1団体（A～F）を選びます。



【ボランティアを終えて】(複写)の下欄のアルファベットA～Fを で囲むと、その団体に**団体活動支援金**が助成されます。

(活動支援団体：児童・生徒に各団体のホームページをご紹介下さい)

- A 認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会** <http://www.jcv-jp.org/>
- B 認定NPO法人JHP・学校をつくる会** <http://www.jhp.or.jp/>
- C 環境NPO富士山クラブ** <http://www.fujisan.or.jp/>
- D 財団法人日本野鳥の会** <http://www.wbsj.org/>
- E 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク** <http://www.nanbyonet.or.jp/>
- F 財団法人日本盲導犬協会** <http://www.moudouken.net/index.php>
- G 指定支援団体(その他の団体)**

Gについては、学校や団体の参加児童・生徒全員の総意として、A～F以外の社会貢献活動をしている団体を指定することができます。Gを選ぶ場合には、ご担当責任者から支援したい団体の団体名・連絡先等をご連絡ください。

注) 児童・生徒がA～Fの団体に をつけても、Gを優先させていただきます。

ありがとうシールを参加者全員に差し上げます！
参加してくれた児童・生徒への感謝の気持ちとして「ありがとうシール」1シートをプレゼントします。
ふれあいパスポートの取り組みにあわせ学校・団体等でご活用ください。



ありがとうシール

4. まずは、身近なできるところから始めるように働きかけてください。

小学校では、「小さな子どものめんどうを見た」「おとなりのゴミ出しを手伝った」「お年寄りの話し相手になった」「外国人のお友達の勉強を手伝った」などの例示を使い、活動を児童に考えさせてみてください。さまざまなボランティア活動があることを発見できるはずです。そして、最初は取り組みやすい身近なことから始めるよう話してください。活動を始めるとボランティアの輪が広がっていきます！



5. ふれあいパスの流れ

ふれあいパスへの参加

ふれあいパスへの参加は、4月から翌年1月末までの申込みであれば、いつでも参加できます。

1. ふれあいパスの送付

ふれあいパスの申し込みは電話・FAX・Eメールでお願いします。(下記)

連絡後、さわやか福祉財団より、ふれあいパス一式を送付します。(着払いもしくは切手で返納)

私たちの活動は、子どもたちにボランティア活動のきっかけを提供することです。ふれあいパスをきっかけに1回でも活動してもらえたら大変嬉しいことです。10回の記録欄を全部うめることが目的ではありませんので、活動できただけを記録してもらい、提出してください。

2. ふれあいパスの児童生徒への配布

児童・生徒(含保護者・教師等)にふれあいパス・ふれあいシールを配布してください。

配布する時に、児童・生徒にP10「はじめるまえに」のページをご活用ください。

3. ボランティア活動

ボランティア活動をしたら、児童・生徒がその内容をふれあいパスに記録します。

活動と同時にふれあいシールも1枚ずつ貼ります。シールを誰が貼るか(本人・先生・保護者等)

は、学校でお決めください。(誰が貼ってもかまいません。楽しめるように工夫してみてください。)

4. ふれあいパスの終了(2月末日までに必ず終了してください)

ボランティア活動の期間が終了したら、P11【ボランティアを終えて】に自分がどう変わったか(成長したか)を書いてもらってください。

活動支援団体のうち、応援したい団体A~Fを1つ選んで で囲みます。

Gの指定支援団体を選ぶ場合は、団体名・連絡先等をご連絡ください。

5. 【ボランティアを終えて】(複写)のみを回収

【ボランティアを終えて】(複写)のみを回収してください。

注)複写紙になっています。筆圧が弱くて読みにくい場合でも、書き直しの必要はありません。

6. 【ボランティアを終えて】(複写)の返送(3月初めにお送り下さい)

児童・生徒から集めた【ボランティアを終えて】(複写)とふれあいパスと一緒に届いた「ふれあいボランティアパスポート回収票」をさわやか福祉財団に送ってください。尚、【ボランティアを終えて】(複写)はお返ししません。

ふれあいパス普及のため、感想文を使わせていただく(情報誌「さあ、言おう」、その他での紹介)ことがあります。個人名等は特定できないよう配慮しますので、あらかじめご了承下さい。

7. 活動支援団体の集計

さわやか福祉財団では、【ボランティアを終えて】(複写)を活動支援団体ごとに仕分けして、その割合を出します。

8. 団体活動支援金の助成

集計の割合をもとに、活動支援金を各団体に助成します。

活動支援金の金額は年度によって変わることがあります。

9. 結果報告

最終集計・助成の結果は、各学校、団体に次年度はじめに文書でご報告します。

申し込み・問い合わせ先 ふれあいボランティアパスポートプロジェクト 担当：有馬まで

Eメール：arima@sawayakazaidan.or.jp TEL:03-5470-7751 FAX:03-5470-7755

6. ふれあいパスを使用するにあたってのお願い

確認欄・ひとこと欄は、大人の方にほめて（励まして）いただくための欄です。子どもたちが、大変嬉しくなりますので、励ましの声や、ほめの言葉をたくさんかけてください。

ふれあいパスは、学級、学年、児童会・生徒会や学校全体で取り組むなど、自由にご活用ください。

ホームルーム・学級会活動、生徒会活動や、ボランティア週間・月間、学校行事、総合的な学習の時間などさまざまな場面でご活用いただければ幸いです。

ボランティアパスポートのルールは、児童・生徒が楽しく取り組めるように、自由にお決め下さい。

ご希望があれば、保護者にもご提供いたします。保護者のかたが参加する場合、子どもと保護者で1冊を共有、あるいはそれぞれ1冊ずつふれあいパスを使用する、のいずれでもかまいません。

ふれあいシールは、本人、保護者、教師等、誰が貼ってもかまいません。

ありがとうシールの使い方は、学校・団体に工夫してください。もちろん、児童・生徒に直接あげても結構です。

ふれあいの輪を広げませんか！

全国の先生方、ボランティアパスポートを他の学校や、
団体等にご紹介いただけると幸いです。



〒105-0011

東京都港区芝公園 2 - 6 - 8

日本女子会館 7階

財団法人さわやか福祉財団

TEL 03(5470)7751

FAX 03(5470)7755